

トド 北太平洋沿岸・オホーツク海・ベーリング海

Steller Sea Lion, *Eumetopias jubatus*



管理・関係機関

北海道連合海区漁業調整委員会
青森県東部海区漁業調整委員会
青森県西部海区漁業調整委員会

最近の動き

- 2014 年 8 月に「トド管理基本方針」を策定。
- 2014 年度は 516 頭の採捕枠に対し 415 頭を採捕。
- サハリン周辺の個体数は引き続き顕著な増加傾向。

生物学的特性

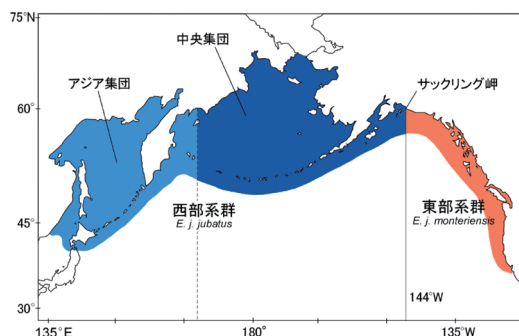
- 体長・体重：雌：2.9 m・350 kg、雄：3.3 m・1,100 kg
- 寿命：雌：30 歳程度、雄：18 歳程度
- 成熟開始年齢：3～7 歳
- 繁殖期・繁殖場：5 月下旬から 7 月初旬、千島列島やオホーツク海、アリューシャン列島、アラスカ湾、カリフォルニアなどの沿岸の特定の岩礁。日本沿岸にはない。
- 索餌期・索餌場：繁殖場及び上陸場周辺、北海道沿岸（冬季）
- 食性：魚類、頭足類
- 捕食者：シャチ、オンデンザメ

利用・用途

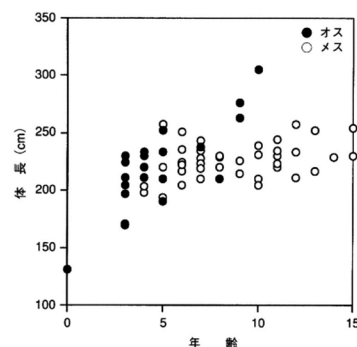
生食や缶詰原料、土産物など

漁業の特徴

一部食用としての利用も含め、漁業被害対策として年間の上限を定めて採捕が行われている（2015 年度は 591 頭）。



トドの分布（Loughlin 1997 に基づく）

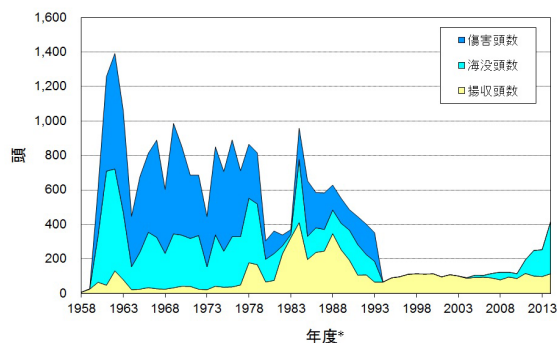


体長と年齢の関係（磯野 1999）

漁獲の動向

1959 年より一部食用としての利用を含め、漁業被害対策としての採捕が行われてきた。1994 年より北海道連合海区漁業調整委員会による年間 116 頭の制限が設けられた。2010 年には管理方策に 5 か年ごとのブロック・クォータ制が導入された。2014 年に日本海来遊群の減少を図る新基本方針が策定され、2014～2018 年度の日本海来遊群のクォータは 501 頭とされた。新基本方針に基づく 2014 年度の採捕実績（混獲死亡を除く）は 415 頭であった。2015 年度の採捕数の最高限度（混獲死亡を除く）は 2014 年度の未消化分を考慮し北海道連合海区漁業調整委員会で 591 頭（根室（知床）来遊群を含む）、青森県東部海区漁業調整委員会及び青森県西部海区漁業調整委員会において、両海区の合計で 8 頭と定めた。

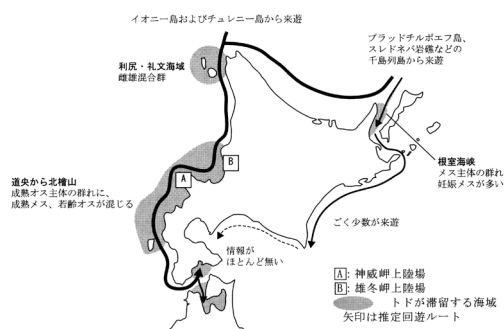
※日本海来遊群の採捕数は北海道、青森県の両道県で 576 頭以内になるよう実施にあたり調整される。



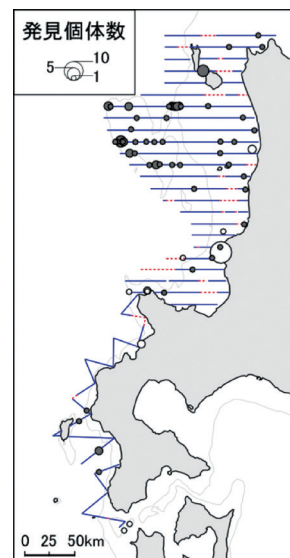
トド採捕頭数の推移（1958～2014 年）（北海道庁、青森県）
揚収頭数は回収し陸上処理した頭数、海没頭数は死亡を確認したが回収できなかった頭数、傷害頭数は被弾したが死亡を確認できなかった頭数を意味する。* トド年度（10～6 月）による集計

資源状態

以西の西部系群のうちアリューシャン列島周辺の中央集団は 1970 年代より急激に減少したが、2000 年以降やや増加傾向にある。西部系群のうちコマンドル諸島以西に分布するアジア集団は、1980 年代までの急激な減少の後、ベーリング海西部やカムチャツカ半島東部では依然安定もしくは減少傾向にあるが、千島列島やオホーツク海では近年増加傾向にある。そのうちサハリン周辺のチュレニー島では、顕著な増加傾向を示している。



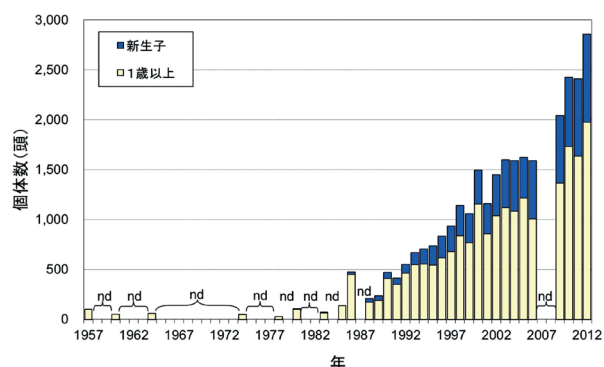
近年の来遊状況と回遊模式図（星野 2004）



航空機目視調査の調査定線とトド発見位置（2012 年）
（●；トド一次発見、○；トド二次発見、青線；海況 2 以下での探索、赤点線；海況 3 以上での探索）

資源評価のまとめ

- 我が国に来遊する西部系群アジア集団は増加傾向。
- 航空機目視調査によって推定された日本海への来遊量は、第 1 期（2005-2009 年）5,800 頭（CV=14.4%）、第 2 期（2010-2013 年）6,237 頭（CV=12.3%）。



チュレニー島の個体数変化

（Burkanov and Loughlin 2005, Burkanov *et al.* 2008, Burkanov *et al.* 2012 に基づく）

管理方策のまとめ

- 我が国では、2010 年より 5 か年ごとのブロック・クォータ制を導入。
- 2014 年に PBR に基づく管理から日本海来遊群の減少を図る管理に方針を転換。
- 2014-2018 年の日本海来遊群のクォータを 501 頭 / 年度に設定。
- 5 年後に採捕数の状況や来遊個体数の変化を点検・評価。
- 管理を的確に行うため、科学的知見の充実が必要。

トド（北太平洋・オホーツク海・ベーリング海）の資源の現況（要約表）

資源水準	—
資源動向	増加傾向
世界の捕獲量 （最近 5 年間） （米国のみ）	264.6 ～ 330.0 頭 平均：291.2 頭（2010 ～ 2014 年） （人為的要因による死亡を全て含む）
我が国の捕獲量 （最近 5 年間）	115 ～ 415 頭 平均：245.6 頭（2010 ～ 2014 年） （混獲死亡を除く）
最新の資源評価年	—
次の資源評価年	—